

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	昨年に、終末期ケアのあり方を各ご家族にアンケートを実施し、看取りへの方向性を示して頂いたが、細かな対応や緩和ケアや延命措置の利用などを調査していないのが現状である。	今後、迎えるであろう終末期をどのように過ごして行く事が本人にとって、ご家族にとって望ましかを細かく、明確に記入出来る書類を作成し、ご本人とご家族と話をしながら取り決めを行なう。	以前、伺った終末期に向けたアンケートにより、ご本人とご家族の終末期・看取りについて方向性を確認し、実際に終末期・看取りを迎えた段階で症状に応じた看取りの方法を協議し実践する。その後、その方向性を職員に周知し実践する。	6ヶ月
2	36	震災後より仮設住宅にて開業し3年が過ぎたことで、職員と入居者との間に慣れが生じたことで、入居者一人ひとりの尊厳やプライバシーが薄れてしまう事が見られるようになった。	管理者が中心となり、改めて高齢者への尊厳の意味を伝え、人格の尊重やプライバシーの侵害に至らないようにする。	高齢者の尊厳や人格の尊重・プライバシーの保護を記載した資料を作成し、全体会や職員の個別面談等で、理解してもらおう。また、現場にてそういったケースが見られた場合には、速やかに対応する。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。